

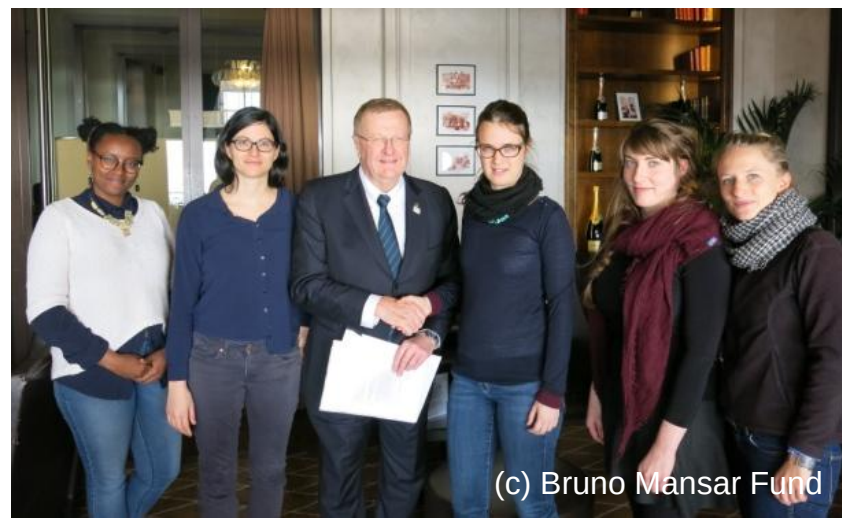
NGO/NPOとの協働を 2020大会のレガシーに

坂本 有希／地球・人間環境フォーラム
sakamoto@gef.or.jp

地球・人間環境フォーラム <http://www.gef.or.jp>
持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPO
ネットワーク（SUSPON）
<http://suspon.net/>

オリパラ施設の木材調達をめぐるリスク

- 2016年5月 NGO声明“持続可能な”木材調達基準とは呼ばないで！！
- 2016年12月 国内外44団体が調達コードが、合法かつ持続可能であることを確保するために不十分と警告
- 2017年4月 新国立競技場の建設でマレーシア・サラワク州の企業の型枠合板が使用されていることが判明
- JSC・組織委員会は、該当製品がPEFC認証製品であり木材調達コードに適合、使用に問題はないとし、それ以上の確認や調査は行われていない
- 2017年5月 日本の緊急行動を呼びかける14万件以上の署名
- 2017年9月 国内外47団体から使用木材の情報公開と熱帯材使用中止、調達コード改訂などの要求



特集

2014年5月8日 (木)

マレーシア・ボルネオ島 先住民を脅かす森林伐採



日本への木材輸出の供給源となっているマレーシア、山間に暮らす先住民たちは「森林の所有権をめぐって訴訟を起こしている。裁判では先住民側の府や企業は「森林は公有地だ」と譲らず、開発だ」と、国際社会からも問題視する声上がる中、られ始めている。森林伐採の訴訟をめぐる出演：吉岡拓馬（シンガポール支局長）

朝日新聞 2016年12月5日 朝刊 38ページ 東京本社

国内外の環境NGOは6日、環境に配慮した木材を東京五輪・パラリンピックの大会場の新国立競技場に使うよう、国際オリンピック委員会（IOC）に対し、大会組織委員会や日本政府に働きかけるよう要望書を出す。現行法では、現地で違法だったり環境に悪影響が出たりする伐採木材の輸入が防げず、新国立競技場に使用される可能性がある」と指摘する。

新国立競技場は木材を多用する設計で、約2千立方メートルの木材が使われる。工事を進める大規模な建設などの事業体は、軒庇と屋根集成材は国産の森林認証材を使う方針だが、コンクリートを用いる際の型枠に使う合板や内装材はその方針は示されていない。

国の施設をつくる事業主体「日本スポーツ振興センター」（JSC）は、グリ



違法伐採の木材 新国立「防止を」

総合トップ > 政治・経済・国際 > エコロジーフロント
エコロジーフロント

「ひねり王子」が見る五輪会場の天井に物議

東京五輪に求めたい真の「持続可能性」

藤田 香 = 日経エコロジー編集&日経BP環境経営フォーラム 生物多様性プロデューサー



2020年東京五輪・パラリンピックの主会場になる新国立競技場建設をめぐる、15カ国の環境NGO47団体は、国際オリンピック

新国立の建設現場 「型枠に熱帯木材」 環境NGO 使用中止を要請

委員会（IOC）と東京大会の組織委員会などに、熱帯木材を使わないことなどを要請する公開書簡を送った。コンクリートを固める型枠の合板に、伐採された現地で先住民の権利が侵害されたり、自然破壊で環境に悪影響が出たりしている恐れがある熱帯木材が使われているとしている。

新国立競技場の建設現場で使われていたコンクリート型枠の合板。マレーシアの伐採企業「シンヤン」のロゴがあった。4月、環境NGO提供

新国立競技場は木を多用した設計で約2千立方メートルの木材が使われる。事業主体の日本スポーツ振興センター（JSC）は、軒庇と屋根集成材は適切な管理と認証された国産木材を使う方針。だが、これまでに計5万8千枚使われた型枠合板はその方針の対象外だ。

建設現場を監視していたNGOが4月、乱伐で先住民との間で訴訟が多発しているマレーシアのサラワク州の伐採企業「シンヤン」が製造した型枠合板を見つけたが、調査など対応がされていないとして公開書簡を送ったという。

公開書簡に対し、JSCは「組織委員会とも協議しながら対応を検討していく」、組織委員会は「内容について確認中」としている。（神田明美）

オリンピックで持続可能な木材調達を！

(SUSPON責任ある調達部会の提案)

- 東京大会では“レガシー”に相応しい木材・木材製品のみが採用される
- 東京大会を契機に持続可能性を追求した責任ある原材料調達が日本の業界スタンダードになる
- NGO/NPOからの情報提供を受け止め、
できることだけでなくできないことも情報公開を
- NGO/NPOとの協働を東京大会のレガシーに